

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公表番号】特表2007-520494(P2007-520494A)

【公表日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2007-028

【出願番号】特願2006-551599(P2006-551599)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/02	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	7/02	

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月1日(2008.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験体における一酸化窒素(NO)ホメオスタシスを回復するための組成物であって、該組成物は、a)1種以上の補体成分に結合する分子、b)1種以上の補体成分の生成をブロックする分子、およびc)1種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項2】

前記分子が、a)抗体、b)可溶性補体抑制性化合物、c)タンパク質、d)タンパク質フラグメント、e)ペプチド、f)低分子、g)RNAアブタマー、h)L-RNAアブタマー、i)スピーゲルマー、j)アンチセンス化合物、k)セリンプロテアーゼインヒビター、l)二本鎖RNA、m)低分子干渉RNA、n)ロックされた核酸インヒビター、およびo)ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記分子が、抗C5抗体である、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

前記抗C5抗体が、a)h5G1.1-mAb、b)h5G1.1-scfv、およびc)

) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記分子が、 a) C R 1 、 b) L E X - C R 1 、 c) M C P 、 d) D A F 、 e) C D 5 9 、 f) H 因子、 g) コブラ毒因子、 h) F U T - 1 7 5 、 i) コンプレスタチン、および j) K 7 6 C O O H からなる群より選択される、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 6】

以下： a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 1 0 % より高い、 b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 2 5 % より高い、 c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 5 0 % より高い、 d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 4 0 , 0 0 0 個より多い、 e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 7 5 , 0 0 0 個より多い、 f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 1 5 0 , 0 0 0 個より多い、 g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $8 0 \times 1 0^9$ 個より多い、 h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 1 2 0 $\times 1 0^9$ 個より多い、 i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 1 5 0 $\times 1 0^9$ 個より多い、 j) 該被験体が 4 0 % より高い P N H I I I 型顆粒球クローンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 L D H レベルの上限の 1 . 5 倍以上の L D H レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

被験体における血色素尿症を低減するための組成物であって、該組成物は、エリスロポエチン (E P O) および分子を含み、該分子は、 a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、 b) 1 種以上の補体成分の生成をプロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をプロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 8】

前記分子が、 a) 抗体、 b) 可溶性補体抑制性化合物、 c) タンパク質、 d) タンパク質フラグメント、 e) ペプチド、 f) 低分子、 g) R N A アブタマー、 h) L - R N A アブタマー、 i) スピーゲルマー、 j) アンチセンス化合物、 k) セリンプロテアーゼインヒビター、 l) 二本鎖 R N A 、 m) 低分子干渉 R N A 、 n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記抗 C 5 抗体が、 a) h 5 G 1 . 1 - m A b 、 b) h 5 G 1 . 1 - s c F v 、および c) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記分子が、 a) C R 1 、 b) L E X - C R 1 、 c) M C P 、 d) D A F 、 e) C D 5 9 、 f) H 因子、 g) コブラ毒因子、 h) F U T - 1 7 5 、 i) コンプレスタチン、および j) K 7 6 C O O H からなる群より選択される、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 12】

以下： a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 1 0 % より高い、 b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 2 5 % より高い、 c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 5 0 % より高い、 d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 4 0 , 0 0 0 個より多い、 e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 7 5 , 0 0 0 個より多い、 f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 1 5 0 , 0 0 0 個より多い、 g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $8 0 \times 1 0^9$ 個より多い、 h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 1 2 0 $\times 1 0^9$ 個より多い、 i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 1 5 0 $\times 1 0^9$ 個

より多い、 j) 該被験体が 40 % より高い PNH II 型顆粒球クローンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 LDH レベルの上限の 1.5 倍以上の LDH レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 13】

被験体における嚥下困難を低減するための組成物であって、該組成物は、 a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、 b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 14】

前記分子が、 a) 抗体、 b) 可溶性補体抑制性化合物、 c) タンパク質、 d) タンパク質フラグメント、 e) ペプチド、 f) 低分子、 g) RNA アプタマー、 h) L - RNA アプタマー、 i) スピーゲルマー、 j) アンチセンス化合物、 k) セリンプロテアーゼインヒビター、 l) 二本鎖 RNA 、 m) 低分子干渉 RNA 、 n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記分子が、抗 C5 抗体である、請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記抗 C5 抗体が、 a) h5G1.1 - mAb 、 b) h5G1.1 - scFv 、および c) h5G1.1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記分子が、 a) CR1 、 b) LEX - CR1 、 c) MCP 、 d) DAF 、 e) CD59 、 f) H 因子、 g) コブラ毒因子、 h) FUT - 175 、 i) コンプレスタチン、および j) K76 COOH からなる群より選択される、請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 18】

以下： a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの II 型赤血球の割合が 10 % より高い、 b) 該被験体の総赤血球含量のうちの II 型赤血球の割合が 25 % より高い、 c) 該被験体の総赤血球含量のうちの II 型赤血球の割合が 50 % より高い、 d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 40,000 個より多い、 e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 75,000 個より多い、 f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 150,000 個より多い、 g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 80×10^9 個より多い、 h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 120×10^9 個より多い、 i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 150×10^9 個より多い、 j) 該被験体が 40 % より高い PNH II 型顆粒球クローンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 LDH レベルの上限の 1.5 倍以上の LDH レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 19】

被験体における勃起機能不全を低減するための組成物であって、該組成物は、 a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、 b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 20】

前記分子が、 a) 抗体、 b) 可溶性補体抑制性化合物、 c) タンパク質、 d) タンパク質フラグメント、 e) ペプチド、 f) 低分子、 g) RNA アプタマー、 h) L - RNA アプタマー、 i) スピーゲルマー、 j) アンチセンス化合物、 k) セリンプロテアーゼインヒビター、 l) 二本鎖 RNA 、 m) 低分子干渉 RNA 、 n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 19 に記載の

組成物。

【請求項 2 1】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 2 0 に記載の組成物。

【請求項 2 2】

前記抗 C 5 抗体が、 a) h 5 G 1 . 1 - m A b 、 b) h 5 G 1 . 1 - s c F v 、および c) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 2 1 に記載の組成物。

【請求項 2 3】

前記分子が、 a) C R 1 、 b) L E X - C R 1 、 c) M C P 、 d) D A F 、 e) C D 5 9 、 f) H 因子、 g) コブラ毒因子、 h) F U T - 1 7 5 、 i) コンプレスタチン、および j) K 7 6 C O O H からなる群より選択される、請求項 2 0 に記載の組成物。

【請求項 2 4】

以下： a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 1 0 % より高い、 b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 2 5 % より高い、 c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 5 0 % より高い、 d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 4 0 , 0 0 0 個より多い、 e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 7 5 , 0 0 0 個より多い、 f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 1 5 0 , 0 0 0 個より多い、 g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $8 0 \times 1 0^9$ 個より多い、 h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 1 2 0 $\times 1 0^9$ 個より多い、 i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 1 5 0 $\times 1 0^9$ 個より多い、 j) 該被験体が 4 0 % より高い P N H I I I 型顆粒球クローンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 L D H レベルの上限の 1 . 5 倍以上の L D H レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 1 9 に記載の組成物。

【請求項 2 5】

被験体における血栓症を低減するための組成物であって、該組成物は、 a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、 b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 2 6】

前記分子が、 a) 抗体、 b) 可溶性補体抑制性化合物、 c) タンパク質、 d) タンパク質フラグメント、 e) ペプチド、 f) 低分子、 g) R N A アプタマー、 h) L - R N A アプタマー、 i) スピーゲルマー、 j) アンチセンス化合物、 k) セリンプロテアーゼインヒビター、 l) 二本鎖 R N A 、 m) 低分子干渉 R N A 、 n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 2 5 に記載の組成物。

【請求項 2 7】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 2 6 に記載の組成物。

【請求項 2 8】

前記抗 C 5 抗体が、 a) h 5 G 1 . 1 - m A b 、 b) h 5 G 1 . 1 - s c F v 、および c) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 2 7 に記載の組成物。

【請求項 2 9】

前記分子が、 a) C R 1 、 b) L E X - C R 1 、 c) M C P 、 d) D A F 、 e) C D 5 9 、 f) H 因子、 g) コブラ毒因子、 h) F U T - 1 7 5 、 i) コンプレスタチン、および j) K 7 6 C O O H からなる群より選択される、請求項 2 6 に記載の組成物。

【請求項 3 0】

以下： a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 1 0 % より高い、 b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 2 5 % より高い、 c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 5 0 % より高い、 d) 該被験体の血

小板数が 1 マイクロリットルあたり 40,000 個より多い、 e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 75,000 個より多い、 f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 150,000 個より多い、 g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 80×10^9 個より多い、 h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 120 $\times 10^9$ 個より多い、 i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 150×10^9 個より多い、 j) 該被験体が 40 % より高い PNH II 型顆粒球クローネンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 LDH レベルの上限の 1.5 倍以上の LDH レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 31】

被験体の総赤血球含量のうちの II 型赤血球の割合を増加させるための組成物であって、該組成物は、エリスロポエチン (EPO) および分子を含み、該分子は、 a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、 b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 32】

前記分子が、 a) 抗体、 b) 可溶性補体抑制性化合物、 c) タンパク質、 d) タンパク質フラグメント、 e) ペプチド、 f) 低分子、 g) RNA アブタマー、 h) L-RNA アブタマー、 i) スピーゲルマー、 j) アンチセンス化合物、 k) セリンプロテアーゼインヒビター、 l) 二本鎖 RNA 、 m) 低分子干渉 RNA 、 n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 31 に記載の組成物。

【請求項 33】

前記分子が、抗 C5 抗体である、請求項 32 に記載の組成物。

【請求項 34】

前記抗 C5 抗体が、 a) h5G1.1-mAb 、 b) h5G1.1-scFv 、および c) h5G1.1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 33 に記載の組成物。

【請求項 35】

前記分子が、 a) CR1 、 b) LEX-CR1 、 c) MCP 、 d) DAF 、 e) CD59 、 f) H 因子、 g) コブラ毒因子、 h) FUT-175 、 i) コンプレスタチン、および j) K76 COOH からなる群より選択される、請求項 32 に記載の組成物。

【請求項 36】

以下： a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの II 型赤血球の割合が 10 % より高い、 b) 該被験体の総赤血球含量のうちの II 型赤血球の割合が 25 % より高い、 c) 該被験体の総赤血球含量のうちの II 型赤血球の割合が 50 % より高い、 d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 40,000 個より多い、 e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 75,000 個より多い、 f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 150,000 個より多い、 g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 80×10^9 個より多い、 h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 120 $\times 10^9$ 個より多い、 i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 150×10^9 個より多い、 j) 該被験体が 40 % より高い PNH II 型顆粒球クローネンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 LDH レベルの上限の 1.5 倍以上の LDH レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 31 に記載の組成物。

【請求項 37】

被験体における溶血を低減するための組成物であって、該組成物は、エリスロポエチン (EPO) および分子を含み、該分子は、 a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、 b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 3 8】

前記分子が、a) 抗体、 b) 可溶性補体抑制性化合物、 c) タンパク質、 d) タンパク質フラグメント、 e) ペプチド、 f) 低分子、 g) RNAアプタマー、 h) L - RNAアプタマー、 i) スピーゲルマー、 j) アンチセンス化合物、 k) セリンプロテアーゼインヒビター、 l) 二本鎖RNA、 m) 低分子干渉RNA、 n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 3 7 に記載の組成物。

【請求項 3 9】

前記分子が、抗C5抗体である、請求項 3 8 に記載の組成物。

【請求項 4 0】

前記抗C5抗体が、a) h5G1.1 - mAb、 b) h5G1.1 - scFv、および c) h5G1.1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 3 9 に記載の組成物。

【請求項 4 1】

前記分子が、a) CR1、 b) LEX-CR1、 c) MCP、 d) DAF、 e) CD59、 f) H因子、 g) コブラ毒因子、 h) FUT-175、 i) コンプレスタチン、および j) K76 COOHからなる群より選択される、請求項 3 8 に記載の組成物。

【請求項 4 2】

以下：a) 前記被験体の総赤血球含量のうちのIII型赤血球の割合が10%より高い、 b) 該被験体の総赤血球含量のうちのIII型赤血球の割合が25%より高い、 c) 該被験体の総赤血球含量のうちのIII型赤血球の割合が50%より高い、 d) 該被験体の血小板数が1マイクロリットルあたり40,000個より多い、 e) 該被験体の血小板数が1マイクロリットルあたり75,000個より多い、 f) 該被験体の血小板数が1マイクロリットルあたり150,000個より多い、 g) 該被験体の網状赤血球数が1リットルあたり 80×10^9 個より多い、 h) 該被験体の網状赤血球数が1リットルあたり 120×10^9 個より多い、 i) 該被験体の網状赤血球数が1リットルあたり 150×10^9 個より多い、 j) 該被験体が40%より高いPNH III型顆粒球クローニーを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常LDHレベルの上限の1.5倍以上のLDHレベルを有する、

の1つ以上を生じる、請求項 3 7 に記載の組成物。

【請求項 4 3】

以下：a) 前記被験体の血流中の乳酸デヒドロゲナーゼ(LDH)レベルにおける50%を超える低下からも明らかのように、溶血が低減される、 b) 該被験体の血流中の乳酸デヒドロゲナーゼ(LDH)レベルにおける正常値の上限の20%以内の低下からも明らかのように、溶血が低減される、 c) 血清補体溶血活性が、血清溶血アッセイからも明らかのように、少なくとも80%低下される、請求項 3 7 に記載の組成物。

請求項 3 7 に記載の組成物。

【請求項 4 4】

被験体における一酸化窒素(NO)欠乏症を処置するための組成物であって、該組成物は、a) 1種以上の補体成分に結合する分子、 b) 1種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 4 5】

前記分子が、a) 抗体、 b) 可溶性補体抑制性化合物、 c) タンパク質、 d) タンパク質フラグメント、 e) ペプチド、 f) 低分子、 g) RNAアプタマー、 h) L - RNAアプタマー、 i) スピーゲルマー、 j) アンチセンス化合物、 k) セリンプロテアーゼインヒビター、 l) 二本鎖RNA、 m) 低分子干渉RNA、 n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 4 4 に記載の組成物。

【請求項 4 6】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 4 5 に記載の組成物。

【請求項 4 7】

前記抗 C 5 抗体が、 a) h 5 G 1 . 1 - m A b 、 b) h 5 G 1 . 1 - s c F v 、および c) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 4 6 に記載の組成物。

【請求項 4 8】

前記分子が、 a) C R 1 、 b) L E X - C R 1 、 c) M C P 、 d) D A F 、 e) C D 5 9 、 f) H 因子、 g) コブラ毒因子、 h) F U T - 1 7 5 、 i) コンプレスタチン、および j) K 7 6 C O O H からなる群より選択される、請求項 4 5 に記載の組成物。

【請求項 4 9】

以下： a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 1 0 % より高い、 b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 2 5 % より高い、 c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 5 0 % より高い、 d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 4 0 , 0 0 0 個より多い、 e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 7 5 , 0 0 0 個より多い、 f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 1 5 0 , 0 0 0 個より多い、 g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $8 0 \times 1 0^9$ 個より多い、 h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $1 2 0 \times 1 0^9$ 個より多い、 i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $1 5 0 \times 1 0^9$ 個より多い、 j) 該被験体が 4 0 % より高い P N H I I I 型顆粒球クローニーを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 L D H レベルの上限の 1 . 5 倍以上の L D H レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 4 4 に記載の組成物。

【請求項 5 0】

溶血性疾患を患う被験体を処置するための組成物であって、該組成物は、以下：

i) a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、 b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子からなる群より選択される 1 つ以上の分子、ならびに

i i) 造血を増大させる 1 つ以上の化合物を含む、組成物。

【請求項 5 1】

前記造血を増大させる 1 種以上の化合物が、 a) ステロイド、 b) 免疫抑制薬、 c) 抗凝固薬、 d) 葉酸、 e) 鉄、 f) エリスロポエチン (E P O) 、 g) 抗胸腺細胞グロブリン (A T G) 、および h) 抗リンパ球グロブリン (A L G) からなる群より選択される、請求項 5 0 に記載の組成物。

【請求項 5 2】

前記分子が、 a) 抗体、 b) 可溶性補体抑制性化合物、 c) タンパク質、 d) タンパク質フラグメント、 e) ペプチド、 f) 低分子、 g) R N A アプタマー、 h) L - R N A アプタマー、 i) スピーゲルマー、 j) アンチセンス化合物、 k) セリンプロテアーゼインヒビター、 l) 二本鎖 R N A 、 m) 低分子干渉 R N A 、 n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 5 0 に記載の組成物。

【請求項 5 3】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 5 2 に記載の組成物。

【請求項 5 4】

前記抗 C 5 抗体が、 a) h 5 G 1 . 1 - m A b 、 b) h 5 G 1 . 1 - s c F v 、および c) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 5 3 に記載の組成物。

【請求項 5 5】

前記分子が、 a) C R 1 、 b) L E X - C R 1 、 c) M C P 、 d) D A F 、 e) C D 5 9 、 f) H 因子、 g) コブラ毒因子、 h) F U T - 1 7 5 、 i) コンプレスタチン、および

j) K 7 6 C O O H からなる群より選択される、請求項 5 2 に記載の組成物。

【請求項 5 6】

前記造血を増大させる 1 つ以上の化合物が、E P O である、請求項 5 1 に記載の組成物。

【請求項 5 7】

以下： a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 10 % より高い、 b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 25 % より高い、 c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 50 % より高い、 d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 40,000 個より多い、 e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 75,000 個より多い、 f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 150,000 個より多い、 g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 80×10^9 個より多い、 h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 120 $\times 10^9$ 個より多い、 i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 150 $\times 10^9$ 個より多い、 j) 該被験体が 40 % より高い P N H I I I 型顆粒球クローンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 L D H レベルの上限の 1.5 倍以上の L D H レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 5 0 に記載の組成物。

【請求項 5 8】

被験体における腹痛を低減するための組成物であって、該組成物は、 a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、 b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 5 9】

前記分子が、 a) 抗体、 b) 可溶性補体抑制性化合物、 c) タンパク質、 d) タンパク質フラグメント、 e) ペプチド、 f) 低分子、 g) R N A アプタマー、 h) L - R N A アプタマー、 i) スピーゲルマー、 j) アンチセンス化合物、 k) セリンプロテアーゼインヒビター、 l) 二本鎖 R N A 、 m) 低分子干渉 R N A 、 n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 5 8 に記載の組成物。

【請求項 6 0】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 5 9 に記載の組成物。

【請求項 6 1】

前記抗 C 5 抗体が、 a) h 5 G 1 . 1 - m A b 、 b) h 5 G 1 . 1 - s c F v 、および c) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 6 0 に記載の組成物。

【請求項 6 2】

前記分子が、 a) C R 1 、 b) L E X - C R 1 、 c) M C P 、 d) D A F 、 e) C D 5 9 、 f) H 因子、 g) コブラ毒因子、 h) F U T - 175 、 i) コンプレスタチン、および j) K 7 6 C O O H からなる群より選択される、請求項 5 9 に記載の組成物。

【請求項 6 3】

以下： a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 10 % より高い、 b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 25 % より高い、 c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 50 % より高い、 d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 40,000 個より多い、 e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 75,000 個より多い、 f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 150,000 個より多い、 g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 80×10^9 個より多い、 h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 120 $\times 10^9$ 個より多い、 i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 150 $\times 10^9$ 個より多い、 j) 該被験体が 40 % より高い P N H I I I 型顆粒球クローンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 L D H レベルの上限の 1.5 倍以上の L D H レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 5 8 に記載の組成物。